

データ保護における 未来への準備

脅威から優位に立つために





データ保護とリカバリは戦いではなく道のりであり、ほとんどの場合その道は曲がりくねっています。

データに対する脅威は増加し、進化しています。犯罪者は攻撃して業務の生命線にアクセスするための新たな手法を開発しています。

データ保護は、ビジネスカルチャーの1つの項目から、動的な複数の要素で構成される方向に変化しています。ワークロードの多様性と場所、各アプリケーションとそのデータの重要度は、必要な保護のレベルとリカバリの処理方法を評価するうえでの重要なコンポーネントです。

高可用性、ガバナンス、コンプライアンスなどの要因はすべて、重要な役割を果たし、リカバリ時間目標 (RTO) とリカバリポイント目標 (RPO) に影響します。

シャドー IT と技術的負債が爆発的に増加しています。チームが、圧倒的な量のデータを作成し、ミッションクリティカルなデータを脆弱なままにする失敗を犯しています。企業はクリティカルなものを完全に可視化できていないため、リスクを低減するための優先順位付けが難しくなっています。

先見的な思考と当然の注意義務により、先手を打ち、発生する可能性がある課題にも備えることができます。





所有しているデータを特定

所有しているデータについて知らなければ、適切に保護はできないと思われま

膨大な数のアプリとプラットフォームは、効率の向上や、より効果的なデータの提供を期待させます。従業員はこれらのツールをサイロ化された状態で使い始め、顧客情報や企業データをプラットフォームに供給し、それらはクラウドに配置されるでしょう。その結果、データの無秩序な増加とマルチクラウド対応の問題が発生します。

このデータは企業によって適切に対応されていないため、犯罪者が侵入できます。不審な動作は気付かれないままのことがあります。IT チームは、データを監視すべきであること、場合によってはデータが存在していることすら知りません。災害が発生して、重要な情報が適切にバックアップされておらず、回復できないことに気付く場合があります。

さらに、災害が発生した場合、その情報が重要であり、適切にバックアップされていない可能性があり、回復できない可能性があるという問題があります。

データの無秩序な増加はガバナンスの課題であり、企業インフラの可視性の向上に加え、より多くの構造と従業員トレーニングが必要です。

より効果的な成果を生み出すために、データにコンテキストを持たせ、複雑な手順のリスクを測定して、エッジ、コア、クラウドのバックアップおよびリカバリ戦略を実行する方法を決定しましょう。

主な質問:

- どのようなデータが、どこにありますか?
- それによってデータの可視性はどのように向上しますか?

ベリタスのソリューション

ベリタスのデータ保護ソリューションは、大規模なデータ保護を実現します。AI 搭載の異常検出エンジンは、膨大な量のデータのマイニング、監視とレポートの自動化、実用的なインサイトの特

ベリタスの分析ソリューションは、サーバーとストレージをすべてのバックアップベンダーで相互参照し、見過ごされ、脆弱なままにされるものをなくすのに役立ちます。第三者製品を含むすべてのシステムをスキャンおよび監視して盲点をなくすことができます。

Veritas Data Insight を使用することで、レポート活動の潜在能力を引き出すとともに、有害な可能性があるデータの検出を実現し、細心の注意を要するデータへのアクセスを取り消し、データ所有者と連携して意思決定とコンプライアンス標準への準拠を強化できます。リスクを特定し、ダークデータを明らかにします。また、さまざまなアクティビティのユーザーアクティビティを記録してアクティビティのパターンを見つけることで異常を特定および検出します。





攻撃者を侵入させない

サイバー犯罪者は、人がネットワークの弱点であることを認識しています。

ほとんどのサイバー攻撃とデータ侵害は、人が介在する相互作用と注意不足によってもたらされます。それらの作用が、フィッシングを効果的にします。

攻撃を防御するにはどうすればよいでしょうか。ID およびアクセス管理、暗号化などの要素は重要な保護対策です。多要素認証とロールベースのアクセス制御を実装することで、攻撃が成功する可能性を減らすことができます。保管中および送信中のデータを暗号化すると、データが使いにくくなり、データ漏えいの防止に役立ちます。スマートカード認証、シングルサインオン、特権アクセス管理などは、ゼロトラストの「最小権限」原則を強化するのに役立ちます。

多層的な防止および保護戦略では、複数のレベルで実装された複数のソリューションを使用します。認証強化のためにデバイスにデジタル証明書を発行することができます（発行すべきです）。バックアップへのアクセスに対する二重認証をもう 1 つの層として使用します。

安全なアクセスの管理とデータの設定ミスの防止は最も重要です。特権を管理し、オンプレミスかクラウドかにかかわらず適切な権限を適用するには、環境内のリソース、アクション、ID を特定して理解することが重要です。試行や変更の進行状況を追跡して監視することは、セキュリティ体制の強化やリアルタイムでの改善に役立ちます。

主な質問:

- フィッシングやマルウェアによる侵害を防止するために現在何を行っていますか？
- 現在の保護対策を改善できる方法はありますか？

ベリタスのソリューション

ベリタスのデータ保護ソリューションは、ベンダーを問わず、ゼロトラストを基盤に構築されています。ネットワークを保護し、送信中および保管中のデータを AES 256 ビット暗号化で保護し、FIPS 140-2 認定に対応し、ユーザーアクセスを制限し、ロールベースのアクセス制御と多要素認証を有効化することができます。

Veritas Data Insight は、稼働中のデータをほぼリアルタイムで可視化し、異常なユーザー行動や既知のランサムウェア拡張子に基づいてランサムウェアを特定します。過剰に開示されているデータを検出して、攻撃対象を制限および削減することもできます。

ベリタスの分析ソリューションは、ランサムウェア、保護されていないシステム、バックアップの異常を特定するのに役立つ、運用に関するインサイトとインテリジェンスを単一の統合ダッシュボードで提供します。これらを使用して、ストレージを最適化し、コストを削減し、コンプライアンスおよび規制要件に対応できます。

Veritas Alta™ Classification は、データセキュリティとコンプライアンスの実現を妨げる障害を取り除きます。メタデータ属性とユーザー行動フォレンジックを収集して実用的なインテリジェンスを引き出し、データの所有権、使用状況、アクセス制御を特定し、データのプライバシーとセキュリティのリスクを低減します。



所有しているデータを特定



攻撃者を侵入させない



重要および脆弱なデータを特定



データとバックアップを利用可能で効率的なものにする



エアギャップと改ざん不可能なデータポルトでデータを保護



ディザスタリカバリプロセスを決定



回復力のリハーサル



バックアップとリカバリを最適化



重要および脆弱なデータを特定

データは静的ではないため、戦略とソリューションも静的であってはなりません。

拡張性が高く、適応する準備ができていない製品やサービスを実装してください。複数のクラウドにわたる複数の統合をもたらすプレッシャーの下でパフォーマンスを実現するには、柔軟性が不可欠です。

企業がすべてのソリューションを単一のベンダーから単一の請求書で購入することを想定するのは馬鹿げています。ビジネス開発はそのようには動きません。乱雑であり、古いレガシーソフトウェアやテクノロジーが新しい高度なソリューションとの組み合わせが発生します。

データに優先順位を付け、対応する必要があるコンプライアンスや規制のレベルを特定します。バックアップを管理する方法、およびリカバリ時間に最終的に影響するバックアップのスケーリングとサイズの取り扱い方法を決定します。帯域幅容量がバックアップとリカバリにどのように影響するかを理解すると、重要なワークフローを最も効率的にバックアップおよびリカバリする方法を形作ることができます。

主な質問:

- 「事業継続」にはどのデータが最も重要ですか？
- データバックアップをどのように優先順位付けしますか？

ベリタスのソリューション

ベリタスのデータ保護ソリューションは、費用対効果に優れ、容易に配備して管理できる、確実な保持および保護ワークフローをベンダーを問わず提供します。簡素化し、単一のプラットフォームへと統合してマルチクラウド環境とハイブリッド環境に対応します。

Veritas Alta™ Shared Storage は、ビジネスクリティカルなアプリケーションを強化し、コストを低く抑えながら優れたパフォーマンスと回復力を実現するエンタープライズクラスの共有ストレージとして設計されています。これにより、アプリケーション管理者とインフラ管理者は機密データを保護できます。また、暗号化、WORM (Write Once, Read Many)、一貫性があるスナップショット、データベースの高速化を提供します。

Veritas Alta™ SaaS Protection を使用すると、従業員離職後の Microsoft 365 アカウントに保存されているデータへのアクセスを追加のライセンスを維持 (および支払い) する必要なく保持できます。個別のマルチレベルリカバリによって、フォルダ、メールボックス、またはサイトをクラウドかオンプレミスかに関係なく好きな場所へリストアできます。ペタバイトおよび数十億のオブジェクトまでバックアップストレージを拡張して、パフォーマンスと柔軟性を最大限に高めます。増分バックアップをより定期的に行うことで、RPO と RTO を最小限に抑え、サイコロケーションの継続的なデータ保護を実装します。





データとバックアップを利用可能で効率的なものにする

データはバックアップ済みです。災害が発生した場合、なぜリストアが非常に難しいのでしょうか。

大量のデータの移行 (セカンダリストレージへの移動など) には、時間とコンピューティングリソースの両方が大量に必要です。また、1 回だけ行うのではなく、3-2-1 バックアップルールを使用している場合は、2 種類のストレージと追加保護用の少なくとも 1 つのオフサイトへと 3 回行うことになります。

さまざまなことが移行中の完全なバックアップを妨げる可能性があるため、高可用性とフェールオーバーが重要になります。水差しからグラスへ水を注ぐようなものです。1 つのグラスが溢れると、2 つ目のグラスが溢れた水をキャッチできます。負荷分散は、どのシステムが要求を処理できるかを評価してワークロードを分散します。複数のサーバーをクラスタリングして、高可用性を確保し、フェールオーバーを実現できます。あるサーバーで障害が発生しても、別のサーバーが代わることができます。何も停止しません。

主な質問:

- バックアップの効率を高めるための機会はどこにありますか?
- バックアップがクリーンで、マルウェアがなく、壊れていないかどうか、どのようにしてわかりますか?

ベリタスのソリューション

ベリタスのデータ保護ソリューションは、3-2-1+1 バックアップ戦略に容易に対応し、組み込まれた侵入防止システム、ストレージを削除不可能にするための分離型リカバリ環境のエアギャップ、組み込まれた分離型の改ざん不可能なデータボルトによってセキュリティを強化します。

Veritas InfoScale は、稼働中のデータの攻撃対象を削減するのに役立ち、スナップショットとデータミラーリングによって稼働中のデータを I/O から分離します。また、リカバリを最適化して RTO と RPO を短縮します。自動スクリプティングを使用すると、分離されたボリュームでマルウェアスキャンを実行し、マルウェアがないようにすることができます。

Veritas NetBackup Flex と Flex Scale は、ハードウェアの複数の障害点をなくして、セキュリティを強化します。クラスタリングコンポーネントを使用して継続的な可用性を維持します。

ベリタスの分析ソリューションは、既知の成功したバックアップのベースラインを作成し、それを使用して将来のバックアップを比較し、異常の特定を支援します。バックアップをアプリケーション別に分類して、すべてのアプリの復元可能性を単一のダッシュボードから表示することもできます。





エアギャップと改ざん不可能なデータボルトでデータを保護

バックアップデータから暗号化に対する脆弱性を排除するにはどうすればよいでしょうか。

データのバックアップに万全を期している企業であっても、人的ミスや機器の故障のリスクは依然として存在します。誤って削除または変更してしまうリスクは高いものです。

バックアップは、データを変更できないようにする方法で作成する必要があります。ファイルが改ざん不可能なストレージに保存されていれば、破損やサイバー攻撃によるストレスを避けることができます。

改ざん不可能なバックアップは、ビジネスを支える最高レベルのデータ保護を提供します。データの永続性は改ざん不可能なストレージに不可欠な要素であり、ファイルの偶発的または意図的な変更を防ぎます。これにより、サイバーセキュリティおよびディザスタリカバリ戦略においてより効率的かつ効果的なプロセスが構築され、経済的損失やダウンタイムを回避するのに役立ちます。

エアギャップソリューションの追加により、改ざん不可能なバックアップデータが分離され、破損がなくなるため、データのクリーンなリストアを進めることができます。

主な質問:

- 現在どのようにバックアップを破損から保護していますか？
- データのエアギャップと分離の実装を要求するコンプライアンス標準はありますか？

ベリタスのソリューション

ベリタスは、NIST の原則に沿って高度な改ざん防止機能、可視性、迅速なリカバリ、削除防止機能を提供します。テーブルベースのバックアップ、クラウドベースのロックされたオブジェクトストレージ、AWS S3 Object Lock 内の効率的なデータストレージなど、オンサイトとオフサイトの両方のソリューションに対して複数の方法をサポートします。

ベリタスのデータ保護ソリューションは、オペレーティングシステムが対処できるようになる前に、不要なリソースアクセス動作をプロアクティブにブロックします。

Veritas Flex を使用すると、改ざん不可能なデータボルトによる分離型のリカバリ環境 (IRE) を実装し、分離型の改ざん不可能な環境から重要なバックアップデータの安全なコピーを提供することができます。IRE アーキテクチャは、重要なバックアップを保護し、クリーンリカバリのオーケストレーションまたはサイバーレジリエンスリカバリ計画のリハーサルに使用できる安全なスペースを提供します。ベリタスのインフラを問わない仮想エアギャップは、保護と分離を強化して攻撃を阻止します。





ディザスタリカバリプロセスを決定

理想的なリカバリソリューションはあらゆるワークロードをサポートします。

容易な統合を組み込み、目的の RPO と RTO を満たし、すべてのストレージをサポートし、保護対象のすべてを表示する統合ダッシュボードを提供するプロセスを作成します。プロセスを定義するとき、以下のよう要素を考慮に入れます。

- リカバリのオーケストレーション (リカバリ順序の決定)
- インテリジェントな重複排除
- スナップショット統合
- ストレージ階層化
- イメージ、カタログ、スナップショットのオンプレミスおよびクラウドストレージへの自動レプリケーション
- コンテナのサポート
- データのインサイトと分析
- オンプレミスとクラウドでの柔軟性の両方に対するセキュリティとコンプライアンス
- データとバックアップシステムが暗号化で保護されるようにする

ゼロトラスト、多層的なデータセキュリティ、インテリジェントな自動化を活用して、ビジネス運用の回復力を維持します。コストを削減し、統合ソリューションを利用しながら、マルチクラウドインテリジェンスを実現し、サイバー防御をアップグレードします。クラウドベースのワークロードのバックアップとリカバリを統合し、ワークロードの移行を自動化し、ワンクリックのリカバリ、カスタムスクリプティング、リハーサルによってスムーズなディザスタリカバリを実装することで、コストを最小限に抑え、進化する規制を常に遵守します。

主な質問

- リカバリにどのくらい時間がかかりますか?
- リカバリの優先度はどのくらいですか?

ベリタスのソリューション

ファイルの一部のみが侵害された場合、ベアメタルリカバリが個別ファイルリカバリかを選択できます。VM をリカバリするための即時ロールバックも用意されており、数百の VM を数分で同時にロールバックします。

データの回復力の強化と Veritas Resiliency Platformにより、アプリケーションごとに異なるリカバリ優先度を割り当て、ビジネスの重要度に従って多層アプリケーションを順番にリカバリすることができます。継続的なデータ保護チェックポイントにより、RPO の短いリカバリが実現します。

Veritas NetBackup Flex と Flex Scale には、強化されたオペレーティングシステム、ゼロトラストアーキテクチャ、改ざんおよび削除不可能なストレージが搭載されています。IRE と改ざん不可能なデータポルトは、外部から検出不可能な分離型のエアギャップソリューションを提供します。マルウェアおよび異常スキャンにより、バックアップデータがクリーンであるという確信を得られるため、環境がオンサイトかクラウドかにかかわらず、即座にリカバリできます。





回復力のリハーサル

リハーサルの目的は、復元ではなくダウンタイムの回避です。

サイバー犯罪者は、ほとんどの企業と同様、貴社のリカバリが最適化されていないことを望んでいます。身代金を支払わせるには最大限の損害とダウンタイムが必要です。リカバリの準備ができ、リハーサルされていれば、すでに大きく一歩先んじています。迅速なリカバリを実現するには、早期および頻繁なテストを含む環境全体のサイバーセキュリティ対応計画が必要です。リカバリの定期的なリハーサルと実践は、ダウンタイムと中断を限定し、攻撃の影響を低減するのに役立ちます。

ハイブリッドおよびマルチクラウドシステムの需要が増加する中、複数のフレームワークを管理し、複数のクラウドとストレージシステムを調整できることが必要です。チームには、複数のサーバーとアプリケーションを管理および拡張する業務が課せられます。

自動化を活用して環境の複雑さを管理し、潜在的な脅威を特定し、リハーサルをプロアクティブに管理して継続的な対応力を確保し、ダウンタイムを最小限に抑えます。

主な質問:

- ダウンタイムを短縮するにはどうすればよいですか？
- 修復にかかる時間を短縮するにはどうすればよいですか？

ベリタスのソリューション

Veritas NetBackup Flex と Flex Scale は、容易に拡張可能なアーキテクチャによってデータ保護の潜在能力を最大限に高めます。多層的な改ざん防止機能、自動プロビジョニング、負荷分散を備えた、データ保護の完全なターンキーソリューションを配備できます。

Veritas InfoScale と Veritas Alta™ Application Resiliency は、設定が機能しているかどうかだけでなく、十分適切に機能しているかどうかにも取り組みます。最大限の稼働時間とフェールオーバーを確保するための重要なビジネスアプリケーションとの密接な統合を通じて可用性とディザスタリカバリを最大限に高めるように設計された包括的なインフラソリューションです。すべてを網羅するソリューションであり、以下のような機能を使用して、業界の需要に応じて柔軟に保護レベルをカスタマイズできます。

- データ整合性に関するコンプライアンス
- 手作業を減らすための多層アプリケーション用の自動ランブック
- ワークロードをプラットフォーム間で容易に移動できる移行性
- 従来のシステムおよび環境とのシームレスな統合





バックアップとリカバリを最適化

企業全体でのデータ保護管理の課題を緩和します。

データオーケストレーションは、ボトルネックの特定と最も時間のかかるプロセスがある場所の把握に対する答えです。オーケストレーションにより、サーバープロビジョニング、データベース管理、アプリケーションなどのプロセスを自動化して時間を節約できます。脆弱性スキャン、ログ検索、さらにはセキュリティツールの接続やシステム統合の支援といったタスクの処理に使用すると、チームにタスクが殺到するのを回避することができます。

適切なソリューションを選択することでデータを管理しやすくなりますが、これは継続的な課題です。

適切な分析へのアクセスにより、環境に不可欠な要素を可視化できます。深く掘り下げていくと、十分に活用されていないもの、誤って設定されているもの、またはインデックスが付けられていないものを特定し、IT 部門による問題解決に役立てることができます。また、再利用するリソースを特定してコスト削減を実現することもできます。

実用的なインサイトを明らかにして使用率、パフォーマンス、回復力を高める一方、障害を予測し、プロアクティブな推奨事項を特定してサービスレベル契約 (SLA) に対するリスクを低減します。

インテリジェントな自動化により、手動プロセスの非効率性をなくし、無限の可能性を引き出します。

俊敏で安全なバックアップとリカバリを実装および配備して、包括的なデータ保護と最適化を実現します。

リソースを合理化し、コストを削減し、1 つの包括的なコンソールビューでエッジからコア、クラウドまでネットワーク全体を監視します。

ベリタスのソリューション

Veritas Data Insight を使用すると、アクティビティを分析し、使用状況とコラボレーションアクティビティを詳細に分析できます。ユーザーを分類し、アクティビティのパターンをより適切に理解できます。また、重複データ、古いデータ、孤立したデータを特定し、リスクスコアを活用して潜在的な脅威を評価し、高リスクデータに優先順位を付けることができます。詳細な監査証跡を作成し、ベリタスのコンプライアンスソリューションによる統合ファイル分析、データ損失防止、アーカイブを活用できます。

ベリタスの分析ソリューションを使用すると、リスクのあるアプリケーションとサービスを迅速に特定できます。すべての環境にわたってバックアップを監視および最適化し、影響を受けているホストを場所、環境、またはアプリケーション別に効率的に見つけることができるため、リカバリ時間が短縮されます。

主な質問:

- データは迅速にリカバリできるように最適化されていますか?
- SLA を理解していますか?





サイバーセキュリティ戦略のギャップを解消しましょう。詳細はこちら >

ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

VERITAS[™]

〒107-0052 東京都港区
赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階
www.veritas.com/ja/jp

各国オフィスとお問い合わせ先については、弊社の Web サイトを参照してください。

veritas.com/ja/jp/company/contact